



審査の前提が成り立たず 2021年度 一般会計決算 不認定

いぢち恭子は、多摩・生活者ネットワークの
岩崎みなこ、岸田めぐみと3名で、
会派「ネット・社民の会」を結成しています。



■ 決算から予算へ 多摩市の決算審査

9月議会は決算認定が行われる会期です。多摩市議会は議会基本条例において「決算と予算の連動」をうたい、決算審査の結果を次の予算編成に対する要望や意見として行政側に提出することになっています。そのため、翌年の3月議会では市から議会へ「どのように予算に反映したか」という報告がなされ、そのことに関する質疑を予算委員会でを行います。

このキャッチボールはまだまだ改善の余地があるものの、他自治体にはほとんどない特別な意義を含んでいます。

決算は昨年度の予算の執行結果なので、議会が認めようと認めまいと現状を変えることはできません。しかしこの「予算との連動」を明確に位置付け、今後の改善につなげようとする議会の権能を確立することで、市政運営の健全性がよりクリアに担保され得るのです。

■ 相次いで発見された審査用データの“ミス”

この大切な審査に際して主に活用されるのが「決算書」と「決算事業報告書」(※右欄参照)です。ところが今回、後者の一般会計版に多数の誤記が見つかりました。その内容は数値・文言等さまざまで、審査中2回ほど修正が示され、決算特別委員会の審議後にもなお複数の間違いが認められました。このようなミスは、今回限りとしなければなりません。

決算書本体の数値は正しかった(=監査結果は正当)のですが、事業報告書には各事業の目的や内容が記されており、審査後は市民に公表・販売される貴重な資料です。他自治体からの評価も高く、実際に審査の拠り所となっています。

当会派は委員会でいったん決算を「認定」しましたが、その後のミス発見について熟議した結果、本議会において「不認定」の立場に変更しました。

■ 会派の判断は「認定不能」

決算自体に間違いがない以上、資料の誤記をそこまで重視するのは妥当でない、とする考え方もあり得ます。しかし審査に重要な役割を果たす報告書が、最後まで正しくなかったという事態は決して軽視できません。「不認定」というよりも「認定不能」の状況であると結論し、これでは市民に対する説明責任が果たせないとの観点から、私たちは認識を改めて委員会での判断を覆しました。

再発防止を強く望みたいと思います。



多摩市議会議員(社民党)
いぢち恭子

▲ 多摩市議会 がん検診推奨キャンペーン

《決算書と決算事業報告書》

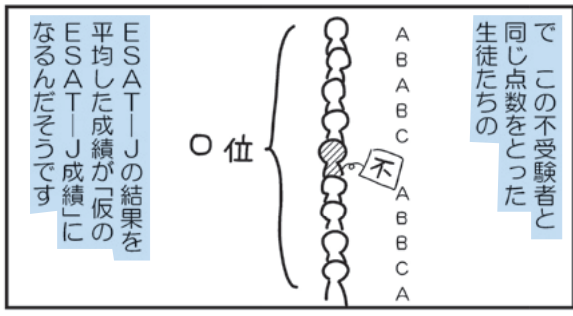
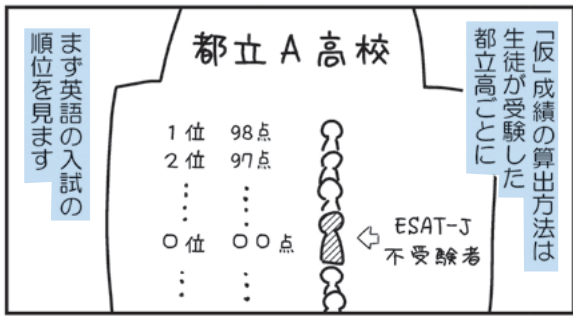
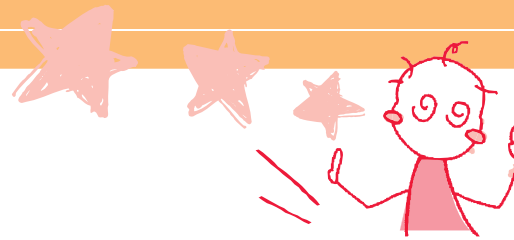
多摩市では予算・決算に関するさまざまな資料を発行し、市民との情報共有や理解促進に努めています。決算審査においてはこの2冊が特に重要です。

決算書には文字通り決算の数値が事細かに記載されており、これが間違っていたら決算全体の信憑性が毀損されます。

決算事業報告書は各事業ごとに「事業カルテ」としてまとめたもので、事業の成り立ち・目標・結果などが一覧できるよう工夫されています。



▶ 個別の質疑については裏表紙へ!



都立高入試への無理な導入

前回のレポートでお伝えした通り、ESAT-Jは入試としても英語教育としても多くの問題をかかえています。中でも特にまずいのが**結果の開示が不十分**であること、**採点方法が杜撰すぎる**こと、そしてこの**不受験者の扱い**ではないでしょうか。

成績を「仮に」決めるという発想は、全く理解ができません。生徒が必死に学び、志望校を決め、努力して試験を受けたその結果を、そして生徒の人生を軽んじているとしか思えず、強い憤りを覚えます。

説明不足の自治体も多い

初めて行うテストだというのに、生徒や保護者への説明が足りていない点も問題です。中にはチラシ1枚配っただけ、という自治体もあるそうなので、ていねいな対応を何度も要請した結果、本市では各校できちんと説明会を開くこととなりました。

しかし都教育委員会からなかなか情報が出てこないため、まだ判らないことが多いというのが現実です。

個人情報を守るか

ある生徒さんは、事業者が過去に起こした情報漏洩事件がどうしても忘れられず、テストを申し込まなかったと聞きました。他にも不安な生徒はいると思いますが、入試に影響すると聞いたら簡単には止められないでしょう。「入試

《ESAT-J》

「English Speaking Achievement Test for Junior High School Students」の略。東京都教育委員会が事業主体、(株)ベネッセコーポレーションが運営主体として共同実施する。

11月末に実施、フィリピンで採点しその結果が内申点に加えられる。実施内容に不明な点が多く、市民・有識者だけでなく都議会からも反対意見が出ている。

「タンバリン通信」も
ぜひ読んでください！

「をたてに個人情報を集めるのか」という保護者の声も聞きます。

市教育委員会は、「現時点で都立高を受けないと決められない場合は ESAT-J を受けておくべき」と指導しているそうです。集めた情報がいつ破棄されるかは、都から何も示されていないとのこと。

この問題は今後を見据えて、諦めずしっかりと追及していこうと思います。

高齢化社会を生きるために

市では「健康体操教室」や「ライフウェルネス検定」など、高齢者向けの施策をいくつも進めています。これらは市民の自主性を高める試みですが、コロナ禍の中でも着実に活動が続いているようなので、大切に育てていってほしいと要望しました。

マンガで触れている「高齢者みまもり窓口」は、永山地域の設置がはじまりでした。担当者は高齢者の世帯を一軒一軒訪問し、居住実態を確かめたり困りごとがないか訊くという、たいへん地道できめ細かい仕事を担っています。

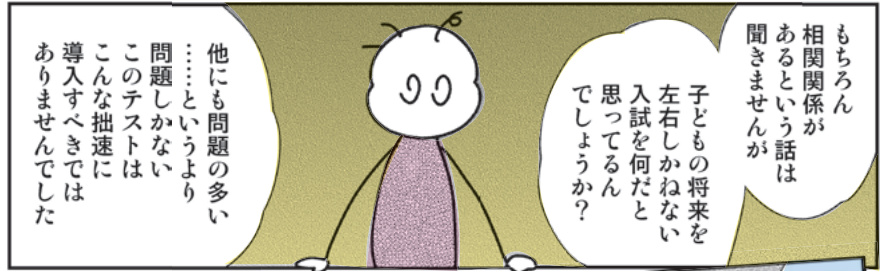
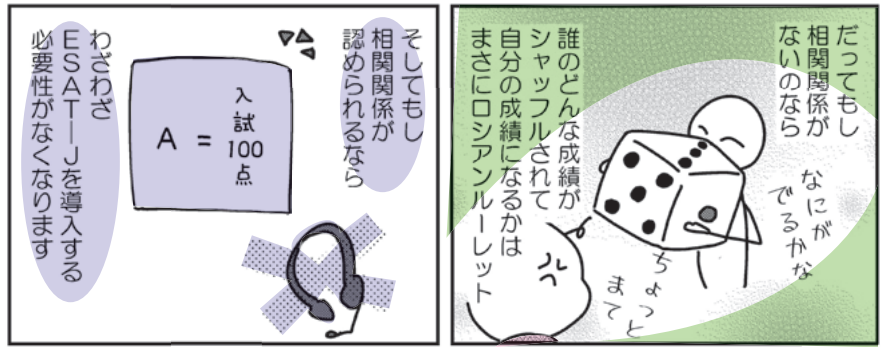
初めは会うことも難しかった市民と徐々に話し合える関係を作るなど、貴重な努力には本当に頭が下がります。

日常と非常時をつなぐ

今回の質疑では、残念ながら今のところ窓口を増やす予定はないと確認できました。

しかし、こうした事業こそ公共団体が責任をもって行わなければならないものです。普段の人間関係や地域情報がなければ、有事の際に支援の手を伸ばしきることができません。

高齢者以外にも要配慮者の方々はいますので、視野を広く持って今後の対策を考える必要があります。



税金の使い道とこれからのこと —— 決算委員会

2021年度の決算については、会派を代表した総括的質疑のほか、個別の事業への質疑も行いました。その中から2点ご報告します。

◆ 総括的質疑——市政のDXについて

多摩市は早くから業務のデジタル化を推進してきました。2021年度に「情報システム課」が「情報政策課」に名称変更したので、今後の展望を聞きました。

DX(デジタルトランスフォーメーション)は単にIT機器を置くだけでは成立せず、業務全体の見直し・再構築があつて初めて機能します。それには市役所職員全体の意識改革が必要で、所管だけが変わってもDXは進まないということでした。

効率化は確かに大事ですが、他に考えるべきことはないでしょうか？

◆ 誰一人取り残さないためには

私たちはDX推進によって取り残される人たち、いわゆるデジタルデバイド(情報格差)問題に着目しました。よく「今は過渡期で、次第にデジタル対応が当たり前の社会になる」と言われますが、未来にはまた新たな技術が生まれ、必ずそれについていけない層が出てきます。公共は常に、デバイドの存在を前提とした市民サービスを考える必要があります。

利便性向上のためにDX化を促進する一方、それにコミットできない市民への配慮も欠かすことはできません。DX一辺倒でないサービス体制の構築と、何らかの困難を抱える市民への配慮を重ねて要望しました。



◆ 事業別質疑——多摩中央公園のリニューアル

中央公園の改修にあたってはPark-PFI方式が導入され、今議会で委託業者も議決したので、工事期間を含めた20年間は民間に運営を任せることになります。

市民の関心も高く、カフェや大型遊具が配置される計画にさまざまな意見が寄せられています。新しい公園には、シティセールスの拠点という役割も期待されていますが、大池と広々とした芝生に象徴される今の公園の魅力を大切に思う声も多いようです。

◆ 市民がどのように関われるのか

市は公園・中央図書館・パルテノン多摩の3施設をまとめて「クリエイティブ・キャンパス構想」を打ち出しています。一体的な運営を通じた地域活性化が狙いで、そのための連携協議会を設置し、パルテノン多摩内のシティサロン部分を専用室として使う議案を示しました。

運営者の会議等に使うとのことですが、特色は市民のためのスペースも用意する点です。詳しいことはこれから詰めていくので、行政・事業者・市民が意見を交わしよりよい公園づくりに寄与する、という機能が望まれます。

市民参画を現実化させる大切なステップです。ぜひ、多摩市ならではの魅力をそなえた公園に育てていきましょう。

◀ 鶴牧東公園

いぢち恭子のプロフィール



- ・ 1962 年生まれのO型おひつじ座
- ・ 1976 年から多摩市落合在住
- ・ 市立豊ヶ丘中学、都立永山高校卒業
- ・ 和光大学入学後、現代舞踊& 整体による身体表現研究に転進
- ・ 2015年、多摩市議会議員選挙に初当選
- ・ 2019年、再選(現在2期目)

- ◆ 総務常任委員
- ◆ 議会だより編集委員
- ◆ 多摩市土地開発公社 評議員

街頭ではコミック・レポート『タンバリン通信』をお配りしています。タンバリン通信バックナンバー掲載中!



公式ブログ『キョーコ式ランドスケープ』
<http://kyokolandscape.blog.fc2.com/>



いぢち恭子公式ホームページ
<https://www.ijichi-kyoko.net>



お困りごとがありましたら、お気軽に下記へご相談ください。

発行・連絡先
いぢち恭子とまちづくりの会事務局
〒206-0033 多摩市落合 3-1-3-103
TEL&FAX / 042-376-4886
TEL&FAX(自宅) 042-400-6264
E-mail / ipanema_red@yahoo.co.jp